

僧侶の皆さまへ 自死遺族の、とまり木に

自死への差別や偏見から、
悲しむことすらできないご遺族がたくさんいらっしゃいます。
ご遺族が安心して気持ちを吐露できる場をともに作りましょう。

遺族のつどい
(隔月@北御堂)



追悼法要
(12月@四天王寺)



当会は

- ・2010年から活動する、関西圏の僧侶有志による超宗派の団体です。
(浄土真宗、浄土宗、臨済宗、真言宗、天台宗、融通念佛宗、黄檗宗など)
- ・会員は20代から80代まで、女性僧侶も多く在籍しています。



関西僧侶の会

検索

自死に向きあう関西僧侶の会

わが国では自死・自殺によって生まれるご遺族は年間およそ七万人以上です。そのご遺族の多くは葬儀できちんと悲しむこともできず、気持ちを誰とも共有できない状況に置かれています。

「急なことで……」「心不全で……」など言葉を濁したり、事実を隠したりしてその場をやり過ごしてしまう方もあります。その結果、きちんと悲しむことができず、永遠にも感じられる苦しさを抱えてしまうのです。私たち僧侶は安心して悲しむ場所を提供し、法要や儀式を通してその苦しさを和らげるお手伝いができればと思っています。

代表 関本和弘

会員の声

自分に何ができるのかと思っていましたが、自分の力で何かを解決する必要はないし、できないと気が付きました。ご遺族の方が少しでも心安らげるような場所を守り続ける、ただただそのお手伝いをさせていただいているような感覚です。

自坊でのお檀家さんとの関わり方にも通ずるところがあり、たくさんのことを学ばせていただいています。

何より、長く活動されている諸先輩方の存在がとても心強く、皆さんのアットホームな雰囲気も好きです。

